140519

技術の完成状況

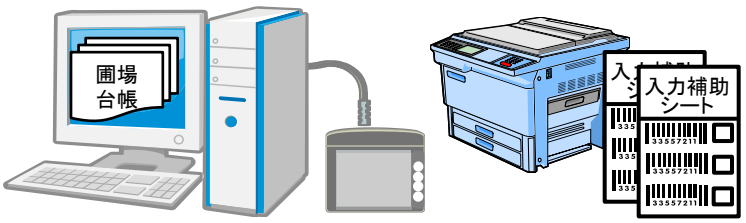
★★★☆☆

端末機を利用したイネWCS生産履歴管理システム

目的と特徴

- イネWCS（稲発酵粗飼料）、ムギWCSの生産履歴システムを開発しました。
- 収穫調製時の情報の取得と製品ラベルの発券、情報管理を行うことができます。
- 収穫機とベールラッパのオペレータ間の情報伝達はバーコード付入力補助シートを利用します。

作業前の事務所での作業

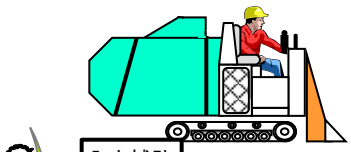


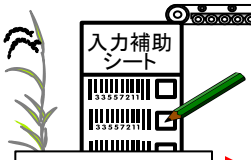
端末機へ圃場台帳の転送とバーコード付入力補助シートの印刷

作業終了後の事務所での作業

収穫調製時の取得データのアップロード

収穫機の作業



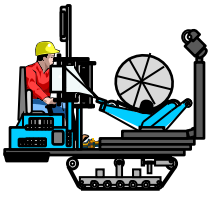


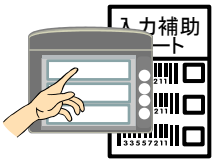
項目チェック → シート伝達 → 項目選択 → ラベル発券 → ラベル貼付

圃場、作物状態をチェック

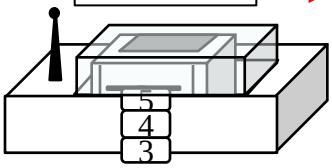
ベールラッパの作業

バーコードリーダで
チェック項目の

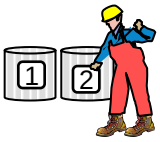




PC画面のタップ操作
チェック項目の直接入力



【移動基地局】
（PC＋プリンター）



圃場台帳と生産現場で取得した情報を統合して管理

生産組織が保有している圃場台帳の主な項目

・地番、面積、品種、移植（播種）月日

生産現場で取得する主な項目

・圃場状態、熟期、倒伏程度、病害虫被害程度、フィルム巻き数

成果

- 手作業で情報を取得し、ラベルへ書込む作業との比較で作業時間は約１/３です。
- 手書きの記載項目を圃場台帳へ入力する作業を含めると省力効果はさらに大きくなります。

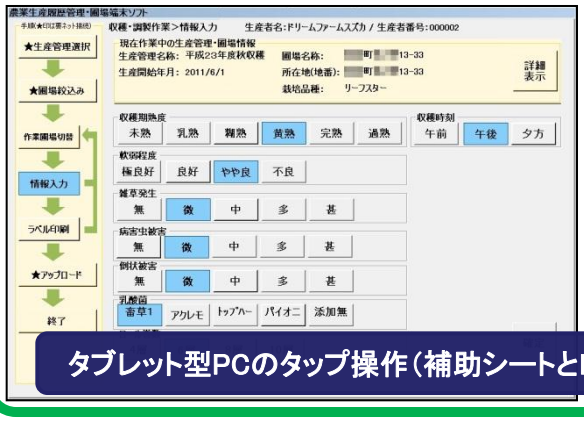
連絡先：農研機構 畜産草地研究所 家畜飼養技術研究領域　　tel　0287-３７-7803

開発システムの作業の流れ

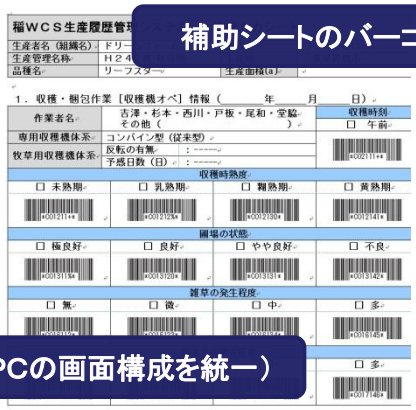
手順

1. 台帳の基本情報を屋外へ持出すノート型PC等（フィールド端末機のタブレット型PCの併用可）への転送と補助シートの印刷（事務所）
2. 圃場に移動後、入力補助シートに圃場、作物状態の該当項目にチェック（収穫機オペレータ）
3. チェックが記載された入力補助シートの項目とフィルム巻き数、ロール個数等を入力
   （ラッパのオペレータがバーコードリーダで読取る。または、タップ操作で直接入力）
4. フィールド端末機から無線で移動基地局のラベルプリンターへ情報を転送
5. ラベルプリンターから発券された製品ラベルをロールベールに貼付
6. １日の作業終了後はフィールド端末機の情報を事務所のPCへアップロード（情報の統合）

収穫調製時に得られる情報の簡易な取得方法（2種類の入力方法）



タブレット型PCのタップ操作（補助シートとPCの画面構成を統一）

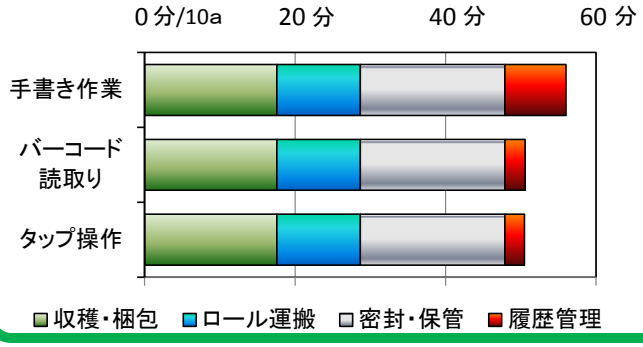


補助シートのバーコードをリーダでスキャン

製品ラベルと貼付作業

収穫日	：2012年10月20日
生産者名	：浦川ファーム
生産地名	：〇〇町13－33
品種	：たちすずか
熟期	：黄熟期
乳酸菌	：畜草1号
フィルム巻数	：8層
重量【kg】	
水分【%】	

開発システムと作業時間の省力性



対象作物、普及対象
- 飼料用イネ（稲発酵粗飼料）、飼料用麦類、全国

対象農家
- コントラクター等の生産組織

必要な道具
- フィールド端末機（タブレット型PC、必要に応じてバーコードリーダ）
- 移動基地局（無線LANアクセスポイントとラベルプリンター等の格納箱）
  （その他：通常のＰＣ（圃場台帳）、Ａ４用紙が印刷可能なプリンター）

その他
- 栽培管理に関する情報の取得には対応していません。

委託プロジェクト研究（国産飼料プロ）
平成25年3月　農林水産省農林水産技術会議事務局研究統括官室